

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」

【第70回】初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）掲載

マナビー・メールマガジン掲載

養父市立養父小学校「やぶっ子教室」

～地域ボランティアの活用等により、子どもたちの人間性を豊かに育むプログラムの充実を図る～

養父市教育委員会社会教育課 篠岡 博章

現在、養父市では9小学校区のうち、8小学校区で放課後子ども教室を実施しています。養父小学校区の「やぶっ子教室」には、約20名の子どもたちが参加し、主に金曜日の放課後、地域ボランティアの特技を生かした体験活動等を行っています。

地域のボランティアによる新しい体験活動として、この夏には、涼しく快適に過ごせるようアロマテラピーを活動に取り入れ、夏をイメージした“世界に1つだけの香りづくり”を楽しみました。また、帰省中の大学生による「バルーンアートづくり」、地域の高校生による「紙飛行機づくり」も行いました。一緒にものづくりを行い、会話や作業を通して次第にうち解け合う中で、子どもたちは地域の先輩方をより身近な存在として感じる事ができたのではないかと考えます。

「やぶっ子教室」では、児童クラブとの連携も大切にしています。教室の指導者、児童クラブ指導員、教育委員会事務局等が打ち合わせを密に行い、指導や支援のノウハウを交流し合うことによってもプログラムの充実が図られています。また、児童クラブ参加者全員が子ども教室に参加するという一体的な取組によって、子どもたちの異年齢交流をさらに促進させることができました。

このように、地域ボランティアの活用や児童クラブとの連携を進めることにより、プログラムの充実が図られるだけでなく、子ども教室の周知や、子どもたちを含めた地域の人と人とのつながりを生み出すことにも発展していくものと期待しています。

養父市では、来年度には放課後子ども教室の全小学校区での開設に向けた取組を進めています。今後も、指導者、児童クラブ指導員、学生、地域の方々と連携し、放課後子ども教室におけるプログラムの充実を図り、子どもたちの人間性を豊かに育んでいきたいと考えています。

（初中教育ニュース(初等中等教育局メールマガジン)第217号に掲載)

（マナビー・メールマガジン第44号に掲載)